

大麻等薬物乱用防止教育

い
ず
み
さ
の
教
育



問合せ
学校教育課

令和3年、府内での大麻事犯の検挙者数は464人、そのうち150人が未成年でした。

近年、大麻乱用の低年齢化が顕著になっており、深刻な問題となつています。「乱用」とは、薬物を不正な目的や方法で使うことで1回でも乱用といえます。大麻の蔓延の背景にはSNSなどを通じて比較的に容易に入手できてしまうこと、他の違法薬物と比べて安価であることに加え、インターネット上で「大麻は安全」といった誤った情報が拡散されていることなどにあると言われています。

しかし、大麻は脳の知的機能や記憶の形成をつかさどる部位（海馬など）に作用し学習能力の低下や精神障害を発症しやすくなるなど、間違いなく心身に悪影響を及ぼす危険な違法薬物です。

本市では各小・中学校において、保健体育の授業でももちろんのこと、警察や医師、少年サポートセンターなどと連携しながら、薬物乱用教室を実施し、特に次の3点について、指導しています。

●正しい知識をもつ…大麻は

脳に作用し、心身に有害であること、大麻は違法薬物であり、所持しているだけでも厳しく罰せられること

●きっぱり断る強い意志をもつ…友人や先輩から乱用を誘われた場合でも、きっぱりと断る強い意志をもつこと

●相談する勇気をもつ…ひとりで問題を抱えこまず、勇気をもって信頼できる大人や専門の相談窓口相談すること

大麻等薬物乱用は大切な自分自身や将来の夢を台無しにし、家族や友人を悲しませることにつながります。家庭や市民のみならずにもご理解ご協力をお願いします。

専門の窓口

【大阪府こころの健康総合センター】

●依存症専門相談…

☎06・6691・2818

●こころの電話相談…

☎06・6607・8814

【少年相談（グリーンライン）】

☎06・6944・7867

【岸和田少年サポートセンター】

（大阪府警察本部 少年課）

☎423・2486

学校園紹介



3つの生活目標
～長坂小学校～

本校では「生活環境」に着目し、「自分からあいさつができる」「時間を守る行動ができる」「机や教室の整理ができる」の3つの生活目標で取組を進めています。

【あいさつ】人間関係を築くための第一歩でもあり、元気よく「あいさつ」できることは、周りの人の気持ちを明るくもします。声の大きさだけでなく、気持ちが込められているととてもすがすがしいのを感じます。

【時間を守る】友だちの時間を大切にすることでもあります。チャイムとともに授業が始まると、待つ時間がなくなるので、みんなで気持ちよく学習をすすめることができます。チャイムが鳴りだすと運動場から大急ぎで戻ってくるたくさんの子どもの姿があります。

【身の周りの整理整頓】心に余裕がないとできません。きれいな環境で柔らかい心を磨いていきたいと思えます。学校が健康な状態かどうかは学校の玄関を見ればわかると言われますが、掃除の時間も担当の子どもたちが一生懸命にきれいにしています。学校での生活環境が整うと心穏やかな子どもが増えます。さらに、授業中の対話が内容の濃いものになっていきます。これからも安全で安心できる学校づくりに努めていきます。



山の子班活動
～大木小学校～

大木小学校では、1～6年生までの縦割り班活動（山の子班活動）を行っています。集会、遠足、大木まつり、交流会などいろいろな行事はもちろん、普段の清掃活動においても全学年で協力し合っています。

【七夕集会】7月に行った七夕集会では、各班で飾りを作ったり、短冊に願いを書いたりして、笹に飾りつけをしました。また、新型コロナウイルス感染予防のため、集会は児童会の司会進行でオンライン形式で行いました。

【秋の遠足】秋の遠足で永楽夢の森公園に行きました。各班でレクリエーションを考え、班ごとに遊んだり、全校で遊んだりしました。1～6年生みんなが遊ぶようにルールを工夫して楽しむことができました。

【大木まつり】昨年の大木まつりでは、例年よりも規模を縮小しての実施となりましたが、保護者のみなさんにも参加していただきました。各班が考えてお店を準備し、当日はそれぞれが店員とお客さんになって、みんなで楽しみました。

【清掃活動】毎年4月の最初の全校活動の際に、その年度の班編成を行い、各班に割りあてられた清掃場所を基に、班の中でどこを清掃するのかを話し合っていて決めています。毎日、各学年の教室や図書室、廊下、トイレ、体育館などをみんなで協力して清掃しています。

